

新 学校給食センター落成

平成15年3月に新しい学校給食センターが完成し、4月19日(土)落成式が行われました。新学期から最新の調理設備により、いっそう安全でおいしい給食づくりが始まっています。

従来の施設は、昭和46年から利用されてきましたが、老朽化への対応と衛生管理の徹底を図るため、このたび松前町大溝に新しい学校給食センターが建築されました。

新しい施設では、食材の受入、保管、下処理、調理、配膳、洗浄の各作業区域を明確に区分するとともに、調理室内への出入口にエアシャワーを備え、調理場の床面を安全で衛生的なドライシステムにするなど徹底した衛生管理がなされています。

また、最新の機器により、調理、配膳、食器・食缶類の洗浄・消毒などの自動化が図られ、安全で効率的な作業が可能となっています。

そして、新学期から児童・生徒の皆さんが使用する食器を一新し、天然石食器を導入しました。これは、安全性、耐久性に優れており、家庭で日常的に使われている食器に近いため、用具を大切に取り扱い習慣や食事マナーの向上に役立つものと思われます。

学校生活の中で、給食は子どもたちの楽しみの一つになっていますが、本来、学校給食には、児童・生徒の成長に必要な栄養を摂取することや、ともに食事する先生や友達との触れ合いの場を持ち、集団生活における協調性を身につけるといった学習活動の一環としての役割があります。

このため、学校給食は、市町村の教育委員会が担当しています。栄養のバランスが取れた献立を考える栄養士、地元の子どものため、心を込めて調理する調理員、おいしい給食を届ける運転手、そして正しい食習慣と社会性を指導する教員が一体となって取り組んでいます。

最近では、給食材料に高い関心が寄せられています。松前町では、良質で鮮度の良い

ものを選択して購入し、安全性に配慮しています。

また、生鮮食料品を中心に地域の特産物を積極的に利用しています。

今後とも保護者や地域の皆さんのご意見を取り入れながら、児童・生徒にとって、おいしくて、魅力ある給食づくりを行いたいと考えています。

問い合わせ
学校給食センター

☎ 984-1786



◀施設見学の様子



◀2階から見た調理の様子



▲みんなで食べる給食はおいしいね！(北伊予小学校)



▶新しい食器は熱くならないよ